

令和 7 年 1 0 月 2 0 日

C S 神興東 保護者の皆様

福津市立神興東小学校

コミュニティ・スクール神興東

校長 的場 隆幸

全国学力・学習状況調査の結果について

4 月に、6 年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果（国語・算数）について、お知らせします。この結果は学力の全てではなく、一部ですが、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

国語

- ◆全国及び県平均をやや上回っています。
- ◆特に、言葉の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項の知識・技能面の正答率が高いです。
- ◆目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つける問題の正答率は 50%程でした。
- ◆無回答率が低いのが特徴です。

【考察と今後の取組】

- ▽正しい漢字を書くことができる児童が多いです。日常の授業で、学んだ漢字を使って文章を書くようにしていることが、力の定着に結びついたと考えられます。
- ▼長い文章を読んで、その事柄の理由を選ぶ項目に児童の苦手意識が見られました。文字の多い文章に慣れることができるように、普段から読書に励んだり、語彙の意味に躓くことがないように、語彙の意味をみんなで共通理解する時間を確保したりしていきたいと思います。
また、国語科以外の教科でも、問題解決に向けて必要な情報を集めたり、まとめたりする活動を大切にしていきたいです。

算数

- ◆全国及び県平均を上回っています。
- ◆「測定」、「変化と関係」領域の正答率がやや低めです。
- ◆記述式の無回答率がやや多めでした。

【考察と今後の取組】

- ▽「がんばりタイム」を活用しての基礎基本の習熟に向けての取組は、児童の学力向上に大変有効であると感じています。地域・保護者の皆様、いつもご協力ありがとうございます。
- 「図形」領域において、経年で比較して伸びが見られました。図形学習の度に既習学習を丁寧に振り返ったり、具体物を使ってイメージをもたせたりした取組の効果が徐々に出ていることが推測されます。
- ▼たくさん情報がある中で、必要なものだけを取り出し、整理するという問題を、授業の終末に仕組んだり、定期的に取り組ませたりしたいと考えます。

理科

- ◆全国及び県平均を上回っています。
- ◆特に「地球」を柱とする領域の正答率が高かったです。
- ◆「エネルギー」、「粒子」を柱とする領域で、全国及び県平均を下回りました。
- ◆記述式の無回答率が低いのが特徴です。

【考察と今後の取組】

- ▽基礎的、基本的な問題がよくできていました。実験や観察など、実際に自分の目で見たり、触れたりした経験が、記憶の定着につながったと考えます。
 - ▼電流や磁石の問題での躓きが見られました。実験の条件なども児童が考えるといったように、じっくりと試行錯誤しながら取り組める時間を確保できるようにしていきたいです。
- また、応用問題に関しての正答率が低かったです。一つの学びを活かして、発展的な問題も考えるような取組も行っていきたいです。

児童質問紙調査

6年生対象の全国調査には、学力テストだけでなく、児童の学習習慣や生活態度、ものの考え方等の調査も行われます。たくさんの項目の中から、福津市や本校が特に大切にしている項目に絞って報告いたします。

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 将来の夢や目標をもっていますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

- ◇「自分には、よいところがある」と答えた児童が全国平均を上回っています。縦割り活動や係活動、当番活動など、学級や自分以外の誰かのためにできることを考えて行動することで、友達や他学年から認められ、自己有用感の向上につながったようです。
- ◇「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童が全国平均をやや上回っています。キャリアパスポートの活用や学級活動(3)の時間を通して、子供自身が自分の将来を考える時間をしっかりと確保したり、自分の成長を実感できるように振り返る場を設定したりした成果だと考えます。
- ◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」「地域や社会をよくするために何かしてみたいか。」の項目では全国や県の平均をやや上回っていました。ふるさと学習を通して地域のためにできることに取り組んだことで、人の役に立つ気持ち良さを実感したり、達成感を味わったりする経験を積み重ねてきた成果と考えます。
- ◇「いじめはどんな理由があってもいけない」と答えた子供が、全国や県の平均を上回っていました。道徳の学習を計画的に行い、学校と家庭が同じ意識で子供たちのいじめに対する規範意識を高めてきた結果と考えられます。
- ◆「平均 1 時間以上の学習」の項目が全国や県の平均を下回っています。チャレンジウィークや自学など、自ら計画を立てて学ぶことが習慣となるような取り組みを行っていきます。